

1057

第十八戰隊機密第三號

第十八戰隊戰聞詳報 第一號

自昭和十六年十二月八日
至同 十二月十九日
AA攻略作戰

第十八戰隊司令部



1058

七六五四三二一
戰功戰令經計形
達

刻績果報過画勢目
告

次

第...戦隊戦斗詳報第一號

自昭和十六年十二月六日
至十二月二十九日 AA 攻略作戦

一、形勢

(一) 十二月八日我軍第一撃隊以降友軍航空部隊ハ毎日一回中攻隊ヲ以テ
ロオット基地ヨリ長艇ヲウシ島要莫ヲ爆撃シ相當ノ被害ヲ受ヘタ
ルニ敵戦斗機及防禦砲火ハ尚活潑ニシテ敵救援隊亦来航シ得
ル情勢ナリ

(二) 我機動部隊ハ布哇方面ノ攻撃ヲ了シ引揚途上ニアリ

二 計畫

(機密) 攻略掩護隊命令(第一號)同二號同三號同四號及第十八戰隊戰策參照

(一) 本攻略計畫確定(南洋部隊命令(十一月十四日)及攻略部隊命令(十一月十四日)既ハ發布アリタル後十二月一日當司令部

編成セラレタルヲ以テ當隊トシテハ攻略部隊ノ要望ヲ實現スル如ク諸般ノ計畫ヲ策定セリ

(二) 作戰準備ハ一應完成シ了ルニ在リ諸兵ニ関シテハ充分ナラ

ザリンモノアリ

(一) 司令部ノ設置進カリシヲ以テ司令部ニ於テ各艦ノ練度ヲ

詳知スル事ナリ戰場ニ臨ムノ止ムナキニ至レルコト

(四) 當隊陸戰隊ノ揚陸訓練ハ僅カニ數回實施シ得タルニ

ニ過キザリシコト

(ハ) 砲射空射擊用彈藥及煙彈ノ配給ヲ要望セシモ未

着ナリシコト

(ニ) 敵機ヲ機銃掃射ニ対スル防禦鋼板ノ配給ヲ得ザリシ

コト

(ホ) 天竜ハ別紙第一ノ如ク戦力充實ニ為施行スベキ工事アリ

タルコト

(三) 機雷ハ其ノ利用ヲ策シ得ル機會ヲキト請爆ヲ考慮シ之ヲ

揚陸セリ

(四) 開戦前南洋部隊航空部隊ヲ以テ「ウ」島ノ機雷偵察

（空真撮影）ヲ實施ス

(五) 本攻略戦ニ於テ特異ナル莫ハ恒風連吹スル洋中ノ孤島ニ

シテ長濤アルト短艇達着シ得ル環礁ヨリ陸岸迄海面ヲ突

破スルヲ要スル莫ナリ

之カ為メ工夫訓練セル事項尤ノ通

(イ) 環礁ヨリ陸岸迄複製箱又ハゴム浮舟ニヨリ進撃訓練

(ロ) 火發取扱法講習

(ハ) 陸上爆破法講習

(六) 第一次攻略後計画ヲ更ニ詳シク

第一次攻略経過ニ鑑ミ不都合ト認メン莫ハ

(1) 長濤中ニ於テ大發ヲ泛水シ得カリシコト

(10) 敵戦半機ニ対スル處置不充分ナリシコト

ニ在リト判断シ一旦我カ企圖曝露セル以上敵防備ハ急速ニ促進セラル可ク奇襲シ得ル算減少シ強襲上陸ヲ覚悟スルヲ要シ敵増援隊ノ派遣ノミナラス其積極行動ヲモ予

期セラルヲ以テ我カ兵力ノ増強ニ案シ十二月十三日當機表第1番電ヲ以テ南洋部隊指揮官宛意見ヲ具申セリ

南洋部隊司令部ニ於テハ十五日艦隊参謀ヲシテ作戰計画案ヲ携行「ルト」ニ派遣セリ本計画案ニ依ル

不實兵ノ揚陸カ攻略作戰ノ基調ヲナスヲ以テ現運送船ヲ以テ大發ヲ泛水シ得ル天候ヲ見定ムルコト之カ為相當ノ作戦邊

延ハ止ムヲ得ズ

(11) 母艦航空部隊ヲ以テスル攻撃ニ基機動部隊ノ行動上攻略決行吉日ノ協力ハ必ズシモ期待スル能ハズ

(12) 攻略決行前夜間水上部隊ノ砲撃ヲ行フ

等、諸莫ニ罪シ當隊意見ハ

(1) 實兵、揚陸カ攻略作戰ノ基調ヲナスト同時ニ本作戦ハ敵ノ積極行動開始前極力退カニ完結スルコト緊要ニシテ此ノ際不確定ナル天候ノ回復等ヲ待フコト絶対ニ忍ハ能ハズ即チ通常ノ天候ニ於テ揚陸スルノ方途ヲ策ストカ唯一ノ方策ナリ

(2) 攻略決行前ノ攻撃手ト共ニ多日ノ母艦航空部隊ノ協力ハ絶対ニ緊要ナリ

故ニ攻略決行日ノ決定ハ機動部隊ノ行動ト充分協調スル要アリ

(1) 事前夜間水上部隊ノ砲撃ハ實効少キト航續巨高ノ索係上著シク攻略決行後ノ行動ヲ規制セラルト敵潜水艦及魚雷艇ニ対スル處置困難ナルト攻略隊ヲ長濤大ナル洋上ニ長期行動セシムルヲ要シ其ノ戦力ニ影響スルノミナラズ彙ニ二回ノ攻撃ハ却テ我カ企圖ヲ曝露スル等ノ不利ナル諸項ヲ予期セラル、ヲ以テ多隊トシテハ其ノ攻撃力ヲ發揮シ得ル望マンヤ事項ナルモ作戰ノ大局ヨリ施行セカルヲ可ト認メタリ

概不右多隊ノ意見ニ基キ研究準備ハ進メラレ十二月十七日

南洋部隊電令作第三三號同第三四號發令セラレテ機
 密第三三番電ノ内意ニ基キ十七日附機密部隊命令作
 第四號ヲ發布セリ。

十五日ニ至リ通信情報ニ依リ敵飛行艇中隊指揮官機
 (一三三〇) AAニ到着セル事確實トナレルヲ以テ攻略部隊
 ニ於テハ遠撃路ヲ西寄りニ迂回シ被發見ヲ免カルノ策
 ヲ有セルモ作戰部隊打合せノ結果航空部隊戦斗機
 及攻略部隊水上機ヲ以テ自隊ノ警言戒ヲ嚴ニスルト共ニ増
 援部隊ヲ以テ二十一日ノ攻撃ヲ行フ事トシ予定計畫
 ヲ断行スルニ決セリ。

三 経過

(一) 第一次攻略戦

(1) 十二月八日我軍、第一撃ヲ確認シ勇躍待機位置「ルオツト」ヲ出撃ヲ警戒ヲ嚴シシテ、ウレ島ニ迫リタリ。

(2) 十日ニ三〇〇頃攻略部隊指揮官（以下夕張ト記ス）ハ予定地莫ニ於テ速カヲ弛メ舟艇ノ泛水作業ヲ開始ヲ令セシモ長

清ノ局メ作業困難ナルヲ認メ「今少シ近寄ラレテハ如何トノ意見通達セムトセン際夕張ヨリ「近寄レ」ノ令ヲ傍受シタルヲ以テ一

先ハ西側ニ於テ警戒ヲ掩護ニ從事セリ。
(3) 然レドモ作業ハ遅延ヲ予想セラル、ヲ以テ二三一〇夕張宛「接レ時

刻変リナキヤ」ヲ確メニ三四〇「多少変更アルモ知レズ」ト返アリ

概ネ予定遂行可能ナリト判断シニ三一八頃ヨリ「ウレ島ヲ認メア

リンヲ以テ其、西側ヲ北上レ北方ヨリ牽制陽動ノ配備ニ就ケリ。
(4) ウレ島北方約五料ヲ東航中十日〇〇〇航空灯台ノ四五度五七料

ニ於テ左舷前方ニ浮上潜水艦ヲ認メタルモ味方潜水艦ニ対スル顧慮ト我企図秘匿ノ為左緊急奇動増速ヲ以テ避退シ友隊ニ之ヲ通報ス

(水) 〇三〇ニ至リ夕張ヨリ接岸時刻ヲ〇三〇〇ニ變更〇二四四更ニ天明後上陸ニ變更ノ報ニ接ス此處ニ於テ制圧射撃ノ為メ再び「ウ」島西側ヨリ南下セリ。

(ハ) 當時艦位正確ナラズ稍々南方ニ偏ンアリシガ強襲上陸ノ為メハ当該聯合陸戦隊ノ上陸ヲモ緊要ナリトシ〇三二一準備ヲ下令シツ、
「ウ」島ニ近接セリ。

(小) 之ヨリ先十日一二五〇掩護射撃目標ヲ予令ンアリシガ〇三〇五制圧射撃ノ為メ其ノ目標ヲウイルクス島ニ變更ヲ令ニタルモ攻略部隊ハ概ネ西偏シアルヲ認メ砲撃目標ヲ「ウ」本島ニ變更セシム

(カ) 概ネ丸新内外ノ巨島ヨリ〇四一〇陸上要點ニ砲撃下令西航中

前面ニ駆逐隊ノ混乱セルヲ認メ反転砲撃ヲ繼續セシモ攻略部隊カ陸戦隊ヲ揚陸センヤ否ヤ不明ニシテ大ナル不安アリシヲ以テ〇四二ニ夕張ニ詳シテ陸戦隊揚陸センヤト照会セシモ應答ナク夕張ヨリ(肆)退セヨト、令ヲ傍受シ且ツ至近ニ敵陣着スルニ至リタルヲ以テ〇四二五砲撃ヲ止メ南方ニ變針セリ

(イ) 〇四五九敵戰鬥機ノ飛来ヲ認メ用巨島八百米トナン機宜増速

敵機ヲ攻撃シテ、回避運動中。五二〇及五二四天電ニ対シ。五二〇
竜田ニ対シ敵機ノ掃射及爆撃アリ

〇五五〇敵機約五機残存、旨友軍ニ通報ス

(四)五二〇金剛丸ニ対シ陸戦隊揚陸ノ有無ヲ照会セシニ揚陸シ非
ズトノ報ニ接シ一應情况ヲ了解スルヲ得タリ

(五)五五二横隊トナシ回避運動ニ便ニシテ、〇六四〇夕張ニ対シ其ノ
決意ヲ確カスル為メ、貴部隊ノ行動ヲ定知ラサレ度ニト電照シ概

テ同隊ト行動ヲ共ニシテ、南下ス。〇七四〇敵機ヲ発見觸接セ

ラレアリト認メ、高脱ニ努メ、夕張ニ對シ、
貴部隊ニ對シ、
支援助ヲ要スルヲアラバ知ラサレ度ニ旨通報セシモ應答ナシ

(六)夕張ガリ。〇七五〇一時、キンニニ引揚、決意ナル旨。一〇四〇、
ルオフトニ

變更ノ旨通知アリ、爾後之ニ應ズル如ク、行動同隊ニ續航之カ

掩護ニ任ジタリ

第二次攻略戦

- (一) 十二月二十一日〇五ニ勇躍待機位置「ルオット」ヲ出撃警備ヲ嚴シツ、
AAニ迫リタリ、
- (二) 途中二十一日一六〇五敵飛行艇非避セルヲ(六通機密オ一六〇番電)
又二十一日一六五五増援部隊カ殘敵戰鬥機ニ機ヲ殲滅セルヲ(八
戰隊機密オ三番電) 承知スルト共ニ二十一日〇五〇五味方監視
潜水艦カ敵機及魚雷艇ニ圧迫セラレ誘導困難(六〇潜水隊機
密オ六三番電) ナル趣ナリシヲ以テ航法ヲ精確ニシAAノ發見
ニ努メタルニ二〇四〇ニ度方向ニ嚮導潜水艦ヲ認メ之ヲ友
軍ニ通報セリ
- (三) 二十一日二一五五AAヲ認メ予度通上陸決行可能ナリト判断
シ牽制陽動配備ニ就キニ四三ヨリ十五分間第二煙幕(濃
密ナル藥煙幕) 展張ス此ノ間上陸時刻ヲ夕張ニ照会セルニ約
一時間遲延セル〇〇〇トナレヲ承知セリ
- (四) 二二〇五微速カトナル引續キ擬舟(後製帆件發光器)六個ヲ投
入AA北方ニ進出セル頃敵ハ擬舟灯火ニ發砲セルヲ認ム
- (五) 二十一日〇〇〇八夕張ヨリ「射撃」ハ者方ヨリ要求スル迄待タレ度
トノ希望アリ爾後〇一〇五着岸セル報ニ接シタルモ砲撃準備

備ヲ完了シA A北方ノ軒以母ヲ西航折返シ東航中附近ニ赤
色灯火ヲ認メタルヲ以テ敵艦艇ノ在否ヲ確メワ、一時北上中
〇二ニ夕張ヨリ「ポパール」島ヲ射撃サレ度旨申出マリ〇二ニ五同
島砲台ニ対シ砲撃ヲ開始〇二ニ九砲撃ヲ止メ上陸ノ情况ヲ
確マル爲A A西側ヲ南下セリ、

(ハ) 〇四〇〇夕張ニ対シ陸上ト連絡トシヤレヲ照会セシニ陸上ノ情
況不明陸戦隊揚陸ヲ依頼スルコトアルヤモ知レズト、回答ニ接シ
「聯合陸戦隊揚陸用意セラ下令ス、

(ト) 〇五〇〇再ビ北上シ「ポパール」島砲撃ヲ決意シ之ヲ友軍ニ
通報セシ折〇五〇九夕張ヨリ「陸戦隊ヲ揚陸ス「ポパール」島ヲ砲
撃セラレ度」旨、希望アリ〇五一九同日島砲台ニ対シ十四軒附近
近ニ於テ砲撃ヲ開始ヲ下令我カ砲弾同砲台附近ニ彈着
セル頃敵艦戦シ其ノ初彈ヲ看旗艦ノ般橋附近ヲ又又セルヲ
以テ一時西方ニ変針〇五二五砲撃ヲ止ム、

(ク) 当時支援隊「ヒール」ポイントノ十五軒附近ニアル報ヲ受ケテ以
テ「ポパール」島砲台ノ彈着巨高ニ鑑ミ支援隊宛「水平砲台ハ
十五軒附近ニ彈着スレバ日流意ヲ喚起セリ、

(リ) 〇五二五尚陸上ト、連絡確保ニ疑ヒアルヲ以テ夕張ニ照会セ
レ祈連絡ナキ旨ノ回答アリ〇七三〇頃ニ至リ漸次陸上戦斗ノ

(必)

模様ヲ承知スルニ至リ激戦繼續中ノモト判断セリ
 ○七〇〇當隊陸戦隊揚陸ノ為メ大發ノ融通ヲ夕張ニ支派
 セン所。七四八攻略部隊ノ陸戦隊揚陸後送ル旨、回答アリ
 待機中。八三四ニ至リ大發全部座礁ノ報ニ接シタルヲ以
 テ敵砲台ノ不活動トナルヲ待テ AA 本島南岸至近
 ノ位置ニ突入。三〇頃同島ニ當隊聯合陸戦隊指揮官
 上杉少尉以下進軍。揚陸ノ攻略部隊聯合陸戦隊指揮官
 ケンメタリ、

(必)

陸戦隊ハ爾後二十五日一五三〇迄残敵掃蕩警備ニ任ズ其
 ノ詳細別紙第二ノ通。
 其ノ頃ニ至リ陸上ノ形勢漸次好転シ遂次敵ノ降伏セルヲ承
 知シテ、當隊ノ威容ヲ示シ西側ヨリ北上 AA 一週ニ對潜警戒
 戒ヲ嚴ニシテ、附近ヲ機宜行動攻略部隊ノ掩護ニ任ジ日
 没後概ネ AA、南西方約六才埋ニ南下中ニ四〇増援部
 隊ヨリ敵潜水艦ノ水中聽音ヲ聽取セル報ニ接シ一層警戒
 ヲ嚴ニシテ、二十四日未明 AA 附近ニ行動ス
 二十三日一三〇〇當隊戰鬥概報第二號(機密第一番電)ヲ
 報告ス

(必)

二十四日一〇〇〇燃料残額六割ニ達ス二二〇〇戦傷者約九十名

アルヲ承知シ(去水戦機密第一ニ七番電)タルヲ以テ当隊ヲ以テ後
送差支ナキ旨ノ張ニ連絡セル所一三五八〇至リ「艦隊司令部」
返ヲ待テ改メテ研究レ、回答アリ、

附近ニ敵潜水艦伏在セル状況ニ於テ飛行機警戒ヲモ行フ事
ナク長期要地附近ニ行動スルハ策ノ得タルモノニ非ハルヲ以
テ基地設営ヲ援助シ極力之ヲ促進スルヲ以テ当面ノ多心務
ナリト判断シ一四二六夕張ニ対シ陸上施設ヲ全幅活用スル
コト、シ荷役作業促進スルコト緊要ト思料ス当隊ニテ
援助シ得ル事項アリヤ当隊短艇ハ昨日ヨリ陸上ニ派遣
待機セシメマリ念ノタメト、連絡ヲナセリ

(カ) (コ)

日没後概ネ夕張ト行動ヲ共ニシワ、AA南東方向ニ
行動中一九二〇電回ハ敵潜水艦ラシキ中波ノ電波ヲ傍受
セルノミナラズ艦隊命令ニ依リ聖川丸ハ「トラス」ニ転
用ノ趣ヲ承知セルヲ以テ二一四五夕張ニ対シ明黎明時
ニ於ケル飛行警戒、實施ヲ要望セリ
一七〇五戦傷者ハ攻略部隊又ハ掩護隊ヲ以テ連ニ「ルオ
フト」ニ後送ヲ可トスル艦隊司令部ノ内意(昨機密第一
五三番電)ヲ知り二十五日〇四三〇夕張ヨリ本日午前中
ニ戦傷者ヲ移乗「ルオフト」ニ送セラレ度旨ノ希望アリ

タルヲ以テ直ニ機務參謀ヲ陸上ニ派遣シ諸般ノ打合せヲ
 ナサシメタル所輸送短艇ヲ得ラレズ長濤ヲ犯シ敵潛
 水艦ヲ察言戒シソ、支隊内火艇ヲ以テ輸送ニ任ズルト共
 ニ〇八一ニ掩護隊電令第一號ヲ以テ聯合陸戰隊ノ
 級艦ヲ下令

一ニ〇三初メテ我カ水上機カ対潛察言戒ヲ開始セルヲ認ム
 一五三〇戰傷者六十八名(天電三十九名、電田三十二名)ヲ收
 容シソルトオットレニ向フ、

一七〇五電田ハ再び敵潛水艦ヲシキ中波ノ電話ヲ傍受
 セル報アリ途中察言戒ヲ嚴ニシアリンガ二十六日一六〇〇
 頃同機傍受ヲ得タリ

一ニ十七日一ニ三〇ソルトオットレ著稱海軍必ニ戰傷者ヲ
 移乗ス途中重傷者一名ニ輸血セルモ全員經過順調
 ナリ

(一) 爾後ソルトオットレヲ基地トシ攻略部隊作戦ノ掩護ニ任ジ
 ソ、アリンガ南洋部隊電令作第三十九号ニ依リ其ノ編成ヲ解カル

(三) AA 攻略ノ結果敵ハ AF、AG 等ノ防備ヲ促進スルト共
 ニ航空機及潜水艦ヲ以テスル反撃ヲ企圖スルコトアル可シ

(四) 行動回及合戦回別回一通

五 戦果

(一) 砲撃

コパール島砲台附近ヲ攻撃スルト共ニ同砲銃陣地ノ砲
火ヲ當隊附近ニ吸收セリ

(二) 戦死傷者、故障欠損兵器消耗、燃料消費額等別表一通

六 功績

(一) 牽制陽動ノ實効

捕虜ニ就テ調査セルニ當隊ノ陽動行動ハ少クモ六隻ノ

1073

(二) 聯合陸戰隊

單艦系攻セルモノト認メ必ズ北方又ハ東方ヨリ上陸ヲ
決行スルモノト判断シ擬舟灯火ニ對シ砲銃火ヲ發射セ
リ其ノ後南方ニ揚陸セルヲ知リ一旦南方ニ移動セシセ
再ハ北方ニ復帰防禦ニ任ジタリト
又南方ヨリハ上陸ニ際シ北方ヲ行動セル當隊ニ對シ高
制セラレ其ノ砲銃火ヲ上陸部隊ニ全幅發揮スル能ハズ
即チ云ル分予期ノ成果ヲ收メ得タルモノト認ム。

(三) 對潛警言戒

殘敵掃蕩、捕虜及鹵獲品ノ整理警言衛ニ任ジ其ノ短
艇ハ最初ニ短艇水路ヲ突入各陸戰隊間ノ輸送ニ活躍セ
リ。

基地設営隊が敵潜水在海面ニ繫泊荷役中其ノ外
方面ヲ掃蕩對潛警言戒ニ任ジタリ。

(四)

戦傷者輸送

戦傷者六十八名中重傷者二対の機宜ノ處置ヲナシ経過
 順當ナルヲ得タリ
 之ヲ要スルニ風浪強大ナル海面ニ於テ敵潜水艦ニ対シ
 終止教言戒ヲ嚴ニシテ、週日ニ互リ克ク其任ヲ全フセル
 事ト認ム

0321	0310	0300	0255	0241	0210	0100	0000	0000	0000	0000	0000
		掩護隊	掩護隊	ウイ略部隊	ウイ略部隊	遮風月	夕張	遮風月	ウイ略部隊	ウイ略部隊	ウイ略部隊
信令第11号	信令第13号	信令第13号	信令第13号	信令第13号	信令第13号	信令第13号	信令第13号	信令第13号	信令第13号	信令第13号	信令第13号
聯合隊用射撃ニ食分準備ナシ	聯合隊用射撃ニ食分準備ナシ	聯合隊用射撃ニ食分準備ナシ	聯合隊用射撃ニ食分準備ナシ	聯合隊用射撃ニ食分準備ナシ	聯合隊用射撃ニ食分準備ナシ	聯合隊用射撃ニ食分準備ナシ	聯合隊用射撃ニ食分準備ナシ	聯合隊用射撃ニ食分準備ナシ	聯合隊用射撃ニ食分準備ナシ	聯合隊用射撃ニ食分準備ナシ	聯合隊用射撃ニ食分準備ナシ
	無線	無線	無線	無線	無線	無線	無線	無線	無線	無線	無線

10801

<p>十四日 一〇〇五</p> <p>A</p>	<p>(五) 下 11 2</p> <p>(通電)</p>	<p>花ニ依リ上陸教練ヲ施行スベシ 二十五日以降毎日出陣又ハ日没後毎日一回、劇 二指導官 非来備艦々長 三参加員 當隊聯合陸戰隊全部 四實施要領 龍ノ外指導官所定 山獲艇ト陸戦隊トハ無線連絡ヲ行フコト 四 保安上十全ノ注意ヲナスコト</p>	<p>(テ)</p>
<p>十三日 一〇〇〇</p> <p>P/BS</p>	<p>(通電)</p> <p>廿五 廿六</p>	<p>本件戰遂行ノ爲ニ相當ノ犧牲ヲ覚悟シ速ニ在ノ通商 強ヲ要スルモノト認ム ハ戰ヲ核破ノ爲空母(零式戰機)連日、天候ハ水上機 ノ使用殆不可能ナリ ハ特陸(全用大群ヲ含シ)約一ト大隊 ハ優大ナル敵來援ニ備フル支援兵力 右意見見具申ス</p>	<p>〃</p>
<p>十二日 〇六〇〇</p> <p>P/BS</p>	<p>乾祥丸</p> <p>(通電)</p> <p>廿五 廿六</p>	<p>多張〇四〇〇ノ船位一四度八分ノ五五度四分巨針路ニシテ運力 ヤニ節着航位置針路知ラサレタリ ハ機密ニシテ九番電 ハ當隊對死傷者六五七ノ重傷ニマアリヤニ月十三日〇六〇〇迄ニ回 トハ錫也ニ回航アリタリ ハ機密ニシテ〇考電 ハウ島攻略戰及航空機ノ各過ニ鑑ルニ同島、砲機銃陣地ハ予想 以上三有カニシテ尚戦手機下リ機上陸セシニ困難ナル地形ニシテ 連日風波強ク且ツ一度我が企圖ヲ察露セル現狀ニ於テハ現 兵力ニテ直ニ攻略設營スルハ困難ナリト思料ス</p>	<p>無電</p>

<p>十四日 一四二〇</p>	<p>(X)</p>	<p>秩父丸八十四日、第五日、余在河船、補給主任スベレ十五日、補給二回、レテハ、第六日、水攻、司令官、所送ニ依ル、 第五日、五月、六日、ヨリ、七、八、九、日、ニ依リ、鳴、六、ニ、横、付、燃、料、(L.C.)ニ、具、水、補、給、ヲ、行、フ、 二番、舟、中、ハ、鳴、戸、右、舷、ニ、番、艇、付、後、三、番、艇、ヲ、移、 二、補、給、料、各、艇、滿、載、</p>	<p>(テ)</p>
<p>十五日 一七五〇</p>	<p>(Z) 丁、川、之、 (正、規、) 辰</p>	<p>ル、今、十二、日、一、時、間、待、機、ト、ス、但、レ、同、時、間、内、ニ、級、投、レ、得、ザ、 ル、ハ、用、作、業、員、ヲ、派、出、ス、ル、コ、ト、ヲ、得、 砲、隊、第、四、ニ、八、番、電、 フ、ル、オ、ン、ト、北、水、道、ミ、ル、水、道、ハ、機、雷、敷、設、レ、ラ、ズ、泊、地、附、近、ノ、 哨、戒、ニ、関、シ、適、宜、各、隊、ノ、御、協、力、ヲ、得、度、</p>	<p>(ハ)</p>
<p>十五日 〇七〇〇</p>	<p>(正、規、) 辰</p>	<p>花、依、リ、ミ、ル、水、道、ニ、哨、艇、ヲ、派、出、シ、警、戒、ス、ベ、レ、 一、六、〇、〇、ヨ、リ、日、没、迄、(ミ、ル、島、南、側、ニ、テ、ハ、我、隊、哨、艇、ト、交、ヤ、ス、) 二、日、一、日、(正、日) 天、電、第、二、日、意、用、早、西、日、天、電、第、五、日、意、用、以、下、繰、返、ス、 砲、隊、第、六、ニ、六、番、電、 南、博、部、隊、指、揮、官、ハ、概、ネ、七、月、三、日、又、ハ、三、日、ヲ、期、レ、 一、ウ、政、略、部、隊、指、揮、官、ハ、概、ネ、七、月、三、日、又、ハ、三、日、ヲ、期、レ、 二、機、動、部、隊、(247) 掩、護、隊、(85) 支、援、部、隊、(65) 浮、水、部、隊、(75) 及、 マ、ー、シ、ヤ、ル、方、面、防、衛、部、隊、ハ、カ、エ、ー、ヲ、改、映、シ、関、レ、ウ、政、略、指、揮、 官、ニ、協、力、ス、レ、 三、機、動、部、隊、ヨ、リ、派、遣、シ、海、援、部、隊、(85) 駐、屯、シ、テ、二、隻、ハ、概、ネ、 三、日、ヨ、リ、三、日、ノ、間、本、政、略、作、戦、ニ、協、力、ス、 四、ウ、一、ウ、之、政、略、作、戦、ニ、要、領、及、各、部、隊、ノ、協、同、ニ、関、シ、テ、ハ、 概、ネ、別、ニ、指、本、ス、ル、所、(参、照、ラ、レ、テ、内、示、セ、ル、タ、ル、案、) 三、準、據、</p>	<p>(テ)</p>
<p>十七日 〇九〇〇</p>	<p>(正、規、) 辰</p>	<p>砲、隊、第、四、ニ、八、番、電、 フ、ル、オ、ン、ト、北、水、道、ミ、ル、水、道、ハ、機、雷、敷、設、レ、ラ、ズ、泊、地、附、近、ノ、 哨、戒、ニ、関、シ、適、宜、各、隊、ノ、御、協、力、ヲ、得、度、</p>	<p>(テ)</p>
<p>十五日 一三三〇</p>	<p>(正、規、) 辰</p>	<p>砲、隊、第、四、ニ、八、番、電、 フ、ル、オ、ン、ト、北、水、道、ミ、ル、水、道、ハ、機、雷、敷、設、レ、ラ、ズ、泊、地、附、近、ノ、 哨、戒、ニ、関、シ、適、宜、各、隊、ノ、御、協、力、ヲ、得、度、</p>	<p>(テ)</p>

<p>十八日 〇八三〇 47 4F</p>	<p>各島 〇二〇三六 47 4F 長</p>	<p>47機密第〇四六号電 爆撃及機銃掃射、爲爆撃誘爆沈没セルモ、数件アリ レ三艦、九七式炸薬爆雷及集束野部隊搭載船ハ釣糸 等三丁、爲急防御等ヲ行ハレタレ</p>	<p>//</p>
<p>十八日 〇七三〇 A 8F</p>	<p>〇八四七 A 65d 47 4F A 24F 21F</p>	<p>85機密第〇三三号電 一、高野部隊、水戦機密第〇三〇八号電、要領ニ依リ、攻略戦 ヲ援助ス 二、第一次攻勢、八月三日早朝ノ予定 三、略</p>	<p>//</p>
<p>十七日 一九四〇 47 4F</p>	<p>〇二二一〇 A 185 A 65d</p>	<p>47機密第〇三三号電 一、エーエ作戦ニ於テ上陸作戦ニ先チ水上部隊ヲ以テ夜間 砲撃ヲ加ヘル案ハ必ズレモ実施セルルシ及バザルモノト 御承知アリ度</p>	<p>//</p>
<p>十七日 一六三〇 P 509</p>	<p>〇一七四五 P 47 4F 大本營機密部 A 185 65d</p>	<p>509機密第〇五五号電 大宮島ニ於テ肉獲セル敵使兵器中陸戦用ヘビガス筒 （重量約二五枚）多数発見サレタリ 米軍ハ陸戦ニ本ガスマヲ使用シ居ルコト明ニレテ戦斗ニ 際シ、留意心ノ要アリト認ム</p>	<p>100</p>
<p>スルモノトス</p>	<p>五増援部隊ノ協力ニ因リテハ攻略部隊指揮官及 陸空部隊指揮官夫々所定ノ細目ヲ協定スベシ</p>	<p>スルモノトス</p>	<p></p>

<p>夕張 千日。八四五</p>	<p>A 千九日。五三七</p>	<p>一五二五 呂松橋長</p>	<p>八月二二二〇 P 2454</p>
<p>(E) T U 1 65 183</p>	<p>(E) T U 2</p>	<p>P 2454 654 755</p>	<p>〃 二二二二 P 44 (同報) 755 654 各P</p>
<p>本日一三〇ヨリ部隊内電波セツケ八ツケ九ツケ 電波整合終ツテ九ニ依リ約一時間通信最 録ヲ行ハル 一配 備 セツケ 九ツケ</p>	<p>海軍警戒艦備上士節千分待機トナセ</p>	<p>呂松橋長密着ノ事地 當方面天候晴雲量一雲高四〇〇米 視界 四〇〇米 向東北風速十五米ノネリアリ</p>	<p>2機家第ニ三一考電 一〇エーロ方面一武陸攻ヲ以テ〇九四〇頃偵察セル モ特ニ変化ナレ ハ飛行機ハ槍体内ニ二機エプロン附近ニ約四機 アルモ大部ハ大破又ハ変形ニアリ完全ト認 メラルルモノ一機空中ニ敵機ヲ見ズ ハ南水道入口ハ同手船様ノモノ以テ閉塞セリ 但レレオナル礁子相心地臭ハ海水色変色レ水深 十米用雷約三百米、礁アルヲ認メタリ在行 高度六百米</p>
<p>カ</p>	<p>(F)</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>

<p>三日 一三三〇 A 609</p>	<p>三日 〇九〇〇 A</p>	<p>三日 〇五三四 A</p>	<p>三日 〇四一〇 P 2454</p>	<p>三日 二二〇〇 A 85</p>
<p>P 2454 185 65d</p>	<p>(Z) TW 2</p>	<p>(Z) TW 2</p>	<p>P 4F P 2454 65d</p>	<p>P 4F P 2454 65d</p>
<p>機密第一六〇番電 一三三D(才三哨戒機中隊指揮官機)三日二四八米 基地通信系ニ出現NQ M及N1 Qト交信一二五四</p>	<p>十八節即時于四節十分間待機トナセ</p>	<p>開距離七〇〇トナセ</p>	<p>機密第一五二番電 攻路部隊ニ対スルニ十日、上空警戒ハ戦手機洋 上進出能力及其地上空警戒ヲ考慮シ當隊 ハ。九〇。迄之ヲ担当以後一三〇。迄并ナセ 空隊觀測機担当スルコトニ協定済ニ付了 知相成度</p>	<p>利根機密第四番電 一當部隊第四船隊機密第一六八番電ニ依リ 今夜三十一日即ニテ接敵シ明日三十日〇四〇〇地兵 ナタサ〇三達シ飛行機ヲ進攻撃ヲ実施シ 當部隊航空機電波ハ戦隊タヒニ。ニ戦 タヒク</p>
<p>ed</p>	<p>"</p>	<p>(*)</p>	<p>"</p>	<p>"</p>

1090

夕張	A 0500	夕張	A 0446	A 0443	A 0420	A 0417	夕張 0410	A 0400	A 0330	A 0329	夕張 0310	夕張 0307	P 0294	三月 0504
A 0509	夕張 0505	(I)TW2	専用	(I)TW2	専用	A 0413	(周報) P 0325	夕張 0311	夕張 0308	夕張 0301	夕張 0211	夕張 0208	A 0105	
吾等ヨリ艦船陸戦隊ヲ揚陸ス ヒパール島ヲ連続砲撃サレ度	我ヒパール島ヲ砲撃ス	必要アル時ハ砲撃ヲ御願ヒス	用距離千メートルナセ	灌漑ノ通路ヲ進メ	陸戦隊揚陸用意ヲナシ置ケ	灌漑ノ九〇度三〇〇メートルニ占位セヨ	取レズ 陸戦隊揚陸ヲ貴隊ニ依頼スルヤモ知レズ	陸上ト連絡付キレヤ	斗情況目下不明 風向七十度 風速十四米	全 止メ	砲撃始メ	ヒパール島ヲ射撃サレ度	ヒパール島ヲ射撃サレ度	着山岸セリ
(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	100

<p>主目 〇九四五</p>	<p>〇一〇二</p>	<p>ウエーク島本島、敵降伏セリ。 陸戦隊及醫務隊至急本島附近ニ送ラレ度</p>	<p>100</p>
<p>P 〇九五〇</p>	<p>〇一〇二</p>	<p>陸戦隊短艇ハ陸戦隊敵投込揚收セズ</p>	<p>(テ)</p>
<p>A 〇一〇三二</p>	<p>〇一〇二</p>	<p>揚陸セヨ</p>	<p>(キ)</p>
<p>A 〇一〇四〇</p>	<p>(メ)</p>	<p>敵ハ降服セルモノ如シ。今ウエーク島ニ調査中</p>	<p>(テ)</p>
<p>陸戦隊ホサ</p>	<p>(メ)</p>	<p>貴隊陸戦隊ハ特任指揮官ト協力シ陸上警戒ニ任ゼレメラレタシ</p>	<p>(テ)</p>
<p>サ 〇一〇五五</p>	<p>〇一〇五三</p>	<p>當隊陸戦隊ハ貴隊陸戦隊指揮官指揮ヲ受ケルム</p>	<p>(テ)</p>
<p>A 〇一〇五五</p>	<p>〇一〇二〇</p>	<p>機密第一三一九番電</p>	<p>(テ)</p>
<p>P 〇九五四</p>	<p>〇一〇二〇</p>	<p>機密第一三一九番電</p>	<p>(テ)</p>
<p>サ 〇一〇三〇</p>	<p>〇一〇三〇</p>	<p>机密第一三一九番電</p>	<p>(テ)</p>
<p>サ 〇一〇三〇</p>	<p>〇一〇三〇</p>	<p>机密第一三一九番電</p>	<p>(テ)</p>
<p>サ 〇一〇三〇</p>	<p>〇一〇三〇</p>	<p>机密第一三一九番電</p>	<p>(テ)</p>
<p>サ 〇一〇三〇</p>	<p>〇一〇三〇</p>	<p>机密第一三一九番電</p>	<p>(テ)</p>
<p>サ 〇一〇三〇</p>	<p>〇一〇三〇</p>	<p>机密第一三一九番電</p>	<p>(テ)</p>

<p>P 755</p>	<p>P 47</p>	<p>P 85</p>	<p>P 85d</p>
<p>2689</p>	<p>P 85 P 254</p>	<p>(通報) P 85 P 254</p>	<p>(通報) P 47 P 185</p>
<p>巡機密第四二番電 呂外清ハ二十四日〇三〇〇配備ヲ撤シテ一般攻撃 呂外清ハ二十四日天明後現配備點ヲ「アエー」トシテ度々、 地兵ニ達シ同地兵ヲ中心トシテ十湮園内ヲ概宜行動哨</p>	<p>巡機密第四二番電 254及配屬駆逐艇ニ隻ニ對スル所長官ノ指揮ヲ解ク 所機密第九二番電 所電令作第ニ五排</p>	<p>當隊一ニ〇〇ウエーノヨリ南下明日正午頃迄 ウエーノ「ボカ」ツク「中岡」ニ至リテウ攻路部隊ノ支援 ニ任ズル迄敵情ニ變化ナケレバルオットニ般攻撃ス</p>	<p>等ニ圍スル要望 三敵ノ執ルベキ作戰ニ圍スル判断資料 四「ウエー」ノ攻路直後ノ情況調査 要地ノ防備上参考資料トナルベキ事項 詳細ハ尚不明ナルモ特別陸戦隊ハ頑強ナル 抵抗ヲ排除シ上陸ニ成功激戦ヲ交ヘツナル モノノ如シ目下般還セル大奔ヲ使用艦艇 陸戦隊ヲ揚陸増援連絡ニ任ジツツアリ、 所機密第三八番電</p>

<p>GL2 185</p>	<p>一一五五</p>	<p>三月一日 P 185</p>	
<p>A</p>	<p>一一〇二</p>	<p>通報 P 624</p>	
<p>今ヨリカシイ水道整備ニ就テ及設移移ス</p>	<p>任務終了後直ニ般艦ノ予定</p>	<p>三ノ後攻路部隊ト概不行動ヲ共ニス 本隊陸戦隊任務傷者運搬並ニ残務整理 レメアリ</p>	<p>式ニ任ズベシ 呂626番ハ三月六日〇六〇。砲備ヲ撤シテエセリンニ般技 スベシ 谷形ハ般途ホカアツクノ西方ミテ湮園内ヲ通過スル 如ク行動セヨ 呂648ハ二十四日一四〇。カエセリン奔トギリツノ東方ミテ 湮園内ヲ經テウエークニ直行ニテ七日ウエーク着ノ 予定</p>
<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>

<p>手四月九〇〇 P 65d</p>	<p>〇一〇〇 サ 44</p>	<p>6d 機密 第三七号電 陸上ヨリ收容ヲ要スル戦傷者約九〇名アリ病 院船至急回航ヲ要トスルモ都合知ラサレ度</p>	<p>〃</p>
<p>〃 〇五三〇 P 65d</p>	<p>(正) T U 1</p>	<p>6d 機密 第三三四号電 ウ政略部隊電令第四號 岸上機隊ハ速ニ飛行機奔進ニ依リ対岸 整戒ヲ実施スベシ一機ヲ以テ日没迄常時ウエーク 島南方十浬圏内哨戒一機ヲ以テ午前及日没前 各一回ウエーク島周圍五〇浬圏内ノ搜索 之ヲ運動止メ</p>	<p>〃</p>
<p>〃 〇九三〇 A 11-000</p>	<p>(正) T U 2 夕張サ</p>	<p>當隊子ザ A 〇七〇〇</p>	<p>(二) (キ)</p>
<p>〃 一〇〇五 A 〇〇</p>	<p>(正) T U 2</p>	<p>列ヲ解ケ</p>	<p>(キ)</p>
<p>〃 一〇〇五 A 〇〇</p>	<p>夕張サ</p>	<p>一今夜貴隊行動ヲ定知ラサレ度 二哨戒艇ノカッター一隻電田ニ揚收シアリ 三當隊今夜行動ヲ定概ニ昨日通り 四戦死者葬喪用材未付 當隊ノ分ニテハ不足ニ付 貴隊ヨリ若干集メ本艇ニ送ル採取計レ度 本艇内火艇ヲ送ルニ付カッター修理員ヲ派遣セヨ</p>	<p>(二)</p>
<p>〃 一〇三〇 A 〇〇</p>	<p>夕張サ</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>
<p>〃 一〇五五 A 〇〇</p>	<p>電田</p>	<p>〃</p>	<p>(正)</p>

<p>三四日一四二〇 GLS PS</p>	<p>P 684 一三〇〇</p>	<p>三四日一四〇 サナ 47</p>
<p>竜田 船長</p>	<p>(四) T U 一 二 三 〇</p>	<p>P 684 一 七 〇 五</p>
<p>竜田一内火艇ニカッター昨三十三日夜水道入口ニテ覆没ス 人命異状ナシ</p>	<p>ウ改路部隊電令第一號 特令アル迄各隊(艇)ハ隊附(乗組)主計料士官ヲ連行陸戦隊ニ派遣シ聯陸指揮官ノ命ヲ承ケ捕虜及敵産ノ処理其ノ他ノ諸要務ニ任セシム</p>	<p>所獲密第一七五三番電 貴機密第一三三七番電ニ関レニ三月十日横須賀出港ノ病院船氷川丸ヲシテルオットトニ直行セシメラレ(同船ハ三月九日頃ルオット着ノ予定)タル次第ナルヲ以テ改路部隊及援護隊ニ成ルベク多数ノ傷者(陸上ニ置クヲ得サル者)ヲ收容シテルオットトニテ病院船(氷川丸及海平丸)ニ移サレ度 尚陸上ニ残レタル傷者ニ対シテハ根拠遺ノ医務料員等ヲ以テ緊急手當ヲナシ置キ氷川丸ルオットト出港後「ウエー」ニ寄港收容セシムラルヲ</p>

<p>三月二二八 Aサ</p>	<p>夕張サ</p>	<p>可ト認メアリ右ハ今直ニ氷川丸海平丸ヲウケリ同航 ノコトスルモ三月後トス之ガ爲貴隊以下ヲ現地 ニ留置スルコトモナラバ警戒上適當ナラスト認メテ ルニ依ルモノナリ</p>	<p>(テ)</p>
<p>A一三三 A一四〇</p>	<p>(B)TUA2</p>	<p>旗形ノ偏跡ヲ推メ 一有回頭之字運動戸法時刻法始メ 陸戦隊員ノ誤ニ依レバ上陸上施設ハ直ニ使用 可能ナルモノ多クガ如シ急遽水復ヲ進出セシムルト 共ニ必需品ノミ陸揚ノコトトシ水上艦艇ハ敵 機ニ圍メル第ハ戦隊情報ニモ鑑ミナルベク速ニ 撤退セシムルコトニ建策セラレテハ如何</p>	<p>(キ)</p>
<p>能田 Aサ</p>	<p>A一三三〇</p>	<p>撤退ノ通跡ヲ推メ 戦傷者九〇名ハ速ニ當隊ニ收容レ後送差支 ナキ内急ナリ貴意承知致度</p>	<p>(イ)</p>
<p>夕張サ Aサ</p>	<p>夕張サ A一三五八</p>	<p>戦傷者後送ハ件病院船ニ圍レ艦隊司令 部ヨリノ返ヲ待ツテ改メテ研究セラルル内意</p>	<p>(ロ)</p>

<p>竜田 根上長</p>	<p>GLS BS</p>	<p>サ 44</p>	<p>A 一五四五</p>	<p>A 一五四二</p>	<p>三四月一四二六 A サ</p>
<p>P BS</p>	<p>A 一九〇</p>	<p>(B) T U 1 6S 12S 24H</p>	<p>ク</p>	<p>(B) T U 2</p>	<p>夕張 サ</p>
<p>午前十時五分電致二三。KCノ敵偵ラレキモラ 感度受ス。電話感度乃至ル</p>	<p>歸ト探月時未定只今ヨリ昨日ニ引續キ 鳥ノ警備係ニ任ズ。尚明日。四三。辨當受取ノ際 カッター修理ノ爲三尺四方ノ鉛板ニ枚用意シ 置カレタレ</p>	<p>伊根密第七四七号電 ウエーク方面可及的処理ノ爲攻略部隊及掩 護隊ハ尚「」ニ行動セラルル処之ニ対シ敵 ノ執ルゴトアルベキ反撃ヲ特ニ敵殘存水艦ニ対シ殺害戒 ヲ嚴ニセラレタレ</p>	<p>竜田ハ三月五日の四三ヨリ軽便潜水器ヲ以テ沈 没短艇ノ引揚ヲ行フベシ</p>	<p>二十五日〇三三〇以後十八日即時三箇節ヲ分間符候モ 十八節即時ニテ四節一時間符候トナセ</p>	<p>陸上施設ヲ全幅活用スルコトトシテ何れ後作業ヲ促 進スルコト緊要ト思料セラル 當隊ニテ援助シ得ル事項アリヤ。當隊短艇ハ 昨日ヨリ陸上ニ派遣待機セシメアリ爲念 ナハ節即時ニテ四節一時間符候トナセ</p>
		<p>〇〇</p>	<p>(F)</p>	<p>(G)</p>	<p>(H)</p>

<p>ク 185 10 11 12</p>	<p>シ 0 4 5</p>	<p>シ 0 4 3 9</p>	<p>二十五日 夕張</p>	<p>ク 185 11 14 15</p>	<p>ク 185 11 14 15</p>	<p>三日 148</p>
<p>46 185</p>	<p>ク</p>	<p>(四) 下 12</p>	<p>ク 0 4 3 0 A サ</p>	<p>ク 185 14</p>	<p>ク 185 14</p>	<p>ク 185 14 15 16 17</p>
<p>一聯合陸戦隊の要務終了次第十五日二〇〇迄</p>	<p>掩護隊電令第一号 列ヲ解キテ予定作業ヲナセ</p>	<p>陸上行ノ便ニ掩架全部ヲ托送セシメラレ度</p>	<p>セラルレバ好都合ト認ム 本月午前中ニテ得ル限り貴隊ニ後送ヲ要スル患者 ヲ移送ナルコトニ回航ノコトニ御願ヒスル内意ナリ 直ニ陸上ニ於テ軍医官ヲレテ後送患者其ノ他 事項ニ関レテ合セシメタク機南參謀ヲモ陸上ニ派遣 セラルレバ好都合ト認ム</p>	<p>飛行給養戒實施方取計ハレ度</p>	<p>龜田タナ一五六、次第ニ鑑ミ朔物不明時ニ於ケル 二十六日一三〇〇、第二期兵力部署有奔令セラル ル三丁度</p>	<p>機密第一二〇番電 米海軍通信情報第一九三號 敵艦船ヲレキモノノ電話ヲ感受ス 電波四一五五K附近(音聲不明瞭)一九四〇ノ測定 方位一九三度 機密第一九三番電</p>
<p>100</p>	<p>(イ)</p>	<p>(イ)</p>	<p>(二)</p>	<p>11</p>	<p>100</p>	<p>100</p>

<p>185 一五五〇 一五五三 一六一二</p>	<p>185 2454</p>	<p>南征艦七〇〇米トナセ 船機密葬ニテ多電 一南隊三十七日一〇〇〇ミル水送ノ如ク三十里ニ達スル 予定ニ付対清哨戒施行ノコトニ取計ハレ度 三十九日戦傷者ヲ氷川丸ニ移載スルニ付大勢ヲ手</p>	<p>一五五〇</p>	<p>蛇行運動始メ</p>	<p>三、三十八日「ホルット」ニ於テ燃料補給ノ予定</p>	<p>185 一五三〇</p>	<p>(工) T U 2</p>	<p>二各艦ハ対清哨戒ヲ嚴ニシテ五月一六〇〇迄 二天竜(竜田)戦傷者三六(三十三)名及ビ各艦 陸戦隊員ヲ收容スベシ</p>	<p>185 一〇〇〇</p>	<p>(四) T U 1 陸戦隊指揮官</p>	<p>一南隊ハ戦傷者六十八名ヲ三十七日迄「ホルット」 ニ後送シテその後同方面ヲ基地トシ攻路部隊ノ 作戦掩護ニ任セントス</p>	<p>三十五日〇八三五</p>	<p>(工) T U 2</p>	<p>二帰投スベシ 二帰投ノ時刻ヲ予定シ報告スベシ 一各艦内火艇ヲ即シ傷者及船外派遺員ノ 運搬ニ任セシムベシ 南隊ニテ戦傷者ヲ至急收容後送セラルルニ付 然ル可ク手配アリ度尚員数承知致度</p>
<p>187</p>	<p>(キ)</p>	<p>(イ)</p>	<p>187</p>	<p>(テ)</p>										

(四) 13

<p>A 一三一 五</p>	<p>三月一三五 A</p>	<p>三月一六五 A</p>	<p>三月一四〇 A 二二〇六</p>	<p>三月一七〇 A 一七〇五</p>	<p>三月一六〇 P 一〇五</p>
<p>馬下川</p>	<p>185</p>	<p>6RP P 455 555 655 245</p>	<p>(E) T U 2</p>	<p>P 一七〇五</p>	<p>通称 P 65 185 105</p>
<p>三第三警戒配備昼間十二時一時間待機</p>	<p>南隊鋪地前回通</p>	<p>一六〇昨日ト同様敵電話ヲ感受ス</p>	<p>二番艇ハ漁艇ノ如ク九〇三〇〇米ニ占位セヨ</p>	<p>一六〇ヨリ約一分間昨日ト同様敵信ヲレキ モノヲ感受スニ二三〇電話英語感受五(極大)</p>	<p>船レ運カレ度 必機密等ニテ考電 南隊戦傷者六十八名及揚陸ニ我隊ヲ收容 三月一五三〇 A A 奔ルオットニ向ッ亦後同 方面ヲ基地トシ攻略部隊作戦ノ掩護ニ任ス</p>
<p>(ウ)</p>	<p>(フ)</p>	<p>(エ)</p>	<p>200</p>	<p>(イ)</p>	<p>100</p>

	<p>十九日 P 4F</p>
	<p>4F 一八〇〇</p>
<p>夜十二時三十分間待機トス</p> <p>四ノ機密第八四九号電</p> <p>南洋部隊電令外号三九號</p> <p>一、攻路部隊、攻路掩護隊、編制ヲ解キ、舟十 八戦隊、舟六水雷戦隊、金竜丸、金剛丸、天洋丸、龍川 丸、主隊ニシテ守備隊ヲコトシ、諸島方面防備部 隊ニ加フ</p> <p>右各隊(形)及支援隊ハ特令アルモノ外、適宜コトシ、 諸島方面警戒ヲ嚴ニシ、ソトラック、ニ同視スベシ</p> <p>二、潜水部隊(第五六潜水隊)ハ一月七日頃迄ニシテ ニ同視スベシ</p> <p>同部隊コトシ、諸島方面奔以後、八月三十一日迄水 隊ヲシテコトシ、諸島方面所在部隊ノ作戦ニ 協力セシムベシ</p>	

戰訓

第一太平洋作戰ニ於ケル島嶼基地攻略隊ニ案

今後ノ作戰ニ於テAA類似ノ基地ヲ攻略
シ敵ノ作戰線ヲ遮断シ以テ其ノ機動ヲ封ス
ル事緊要ナル所

一此ノ種攻略戰ニハ概テ危ノ特質アルヲ以テ
之カ訓練裝備ヲ緊要トス

二攻略隊ト敬言南隊トハ別箇ノモタルヲ要ス

本訓練ハ精練ナルヲ要シ裝備ハ特殊ノモ
ナルヲ以テ特別攻略隊數隊ヲ編成シ遂次攻
略ニ從事セシムルヲ要ス

		特		
		質		
洋中孤島	熱地	長濤火	恒風連吹	
<p>概テ珊瑚礁系ナルモ海岸ノ状況ハ 珊瑚礁類似ノ所アリテ舟艇ヲ達シ 得ル礁ヨリ相當ノ水深海面ヲ要テ 要地ニ到着セハル可ラカル事多 シ</p>	<p>一、赤道附近ニ於テハ恒風弱吹ノ傾 向アリト雖モ高ホ長濤ヲ予期 セラル 二、恒風ナル故ニ陸兵ノ下トナリ 防衛方面一定ス</p>	<p>一、風下側ト雖モ長濤大 二、起伏少ク舟界大ニシテ側防便 三、防壁ト見張容易 四、所定時刻ニ島岬ヲ見到達困 難 五、防備泊地トモ為テ攻略船艇及輸送 船ハ敵潜及魚雷艇ニ対シ極度ノ 警戒ヲ要ス</p>	<p>一、身長以上ノ海水中 ノ迅速進撃手</p>	
		<p>一、長濤中ノ舟艇沈 水 二、夜間強襲上陸 戦斗 三、上陸後ノ長時間 夜戦 四、洋上補給 五、航海術</p>	<p>一、特殊舟艇 二、長濤海面ニ於テ舟艇 ヲ迅速沈水シ得ル設備 ヲ有スル運送船 三、機動銃器ノ増配 四、糧食ノ防備 五、飲料水携行 六、洋上補給施設</p>	<p>所要訓練事項</p>
			<p>所要裝備</p>	

第三 航空機ノ協力ニ係ル

一、大型機ヲ以テスル最大進出巨高附近ノ要地
 爆撃ノミニ依リ敵機及陣地ヲ過大部破壊ス
 ルトハ至難ナリ（其ノ實効ニ過大ノ依存ヲナ
 スハ危険ナリ）

（二）今期作戰ニ於テ四航戦カ十数日ニ亘リ連日
 長驅爆撃ヲ敢行セルカ攻撃時機ノ制限セ
 ラルト概ネ一日一回ノ攻撃ナルト依リ其ノ
 大ナル比シ真ノ奇襲第一撃ノ他破壊
 實効果ハ少ク加之漸次我被害増大セリ

（三）今期作戰ニ於テ残存ノ敵機ヲ殲滅
 シタルハ母艦航空部ノ機ヲAノ攻路
 後陣地ノ被害ヲ想ヨリモ輕微ナリト
 ハ之ヲ母艦證スルモナリ

三、島嶼攻略戦ニ於テモ上陸戦斗ニ航空機ノ協
力ハ絶對既系要ナリ

ハ今期作戦ニ於テ上陸決行前航空機ニ依リ敵
機及陣地ヲ爆撃セバ戦斗地域狭ナルト
敵味方混淆ノ虞モアリ一暮ニ夜間白兵ヲ
以テ事ヲ決シ得ベク上陸戦斗ニ航空機ノ協
力ハ不要ナリトノ意見見アリタリ。

四、今回〇〇三〇頃上陸〇九〇〇頃ニ至ルモ僅ニAA
本島ノ半部ヲ占領シ得タルニ過ギズ他島
陣地ヨリ高ホ活潑ナル反撃アリシ情況ニ於
テ敵ノ降伏ヲミタルハ上陸戦斗ニ協力セン
航空機ノ威力カラ安易ニ證スルモノナリ。

ハ斯リノ如ク白兵ノ勇戦奮斗ト航空機ノ

威力ト艦砲ノ効果等ノ緊密ナル集中發
揮コソ戦斗ノ妙諦ニシテ各々單獨威力ヲ
以テ事ヲ決セムトスルハ徒ニ被害ヲ増大スル
ノ活教訓ナリ。

三 艦艇ノ防空及對潜防禦上航空機ノ協力
ハ絶対緊要ナリ。

四 第一次攻略戰ニ於テ僅カ數機ノ敵戰斗機ノ為
メ總艦艇カ離棄セラレタルハ我カ艦艇防空
機ノ緊要正備カ緊要ナルヲ示スト共ニ味
方航空機協力ノ緊要ナルヲ實證スルモ
ナリ。

四 第二次攻略戰ニ於テ敵潜水艦數言戒、為
メ殆ンド全能力ヲ吸收セラレ水偵一二機ノ對

潜哨戒ノ要ヲ切實ニ痛感セリ。

第三、敵ノ執ルベキ作戰ニ系シ

一、我が國が本聖戰完遂ニ對スル態度ヲ速ニ敵ニ徹底正解セシムル如ク適當ナル宣伝方策ヲ構ハル事肝要ナリ。

(1) 今期攻略作戰ニ於ケル擲擧ノ言動ニ徴スルニ彼等ハ既ニ全カヲ以テ戰斗セリトシテ功成リ名ヲ遂ケタルカ如キ能度ナルノミナラズ我カ忠勇ナル戰場將兵ニ對シテ余等ノ彈丸ヲ以テ傷ケタリト誇ラ有スルモノ如シ。

(2) 右ノ實情ヲ判断スルニ再ビ歸投シ得ハル遠巨高ヨリ帝都空襲等ヲ行ヒタル後、總々全員我カ航空部隊ニ着陸シ捕虜トナルカ如ク、暴行ニ及ブ

算大ナリ。

二我が作戦ハ常ニ積極的ニ敵ノ物質的準備完成前其企圖ヲ打破スル如ク遂次洋中ノ基地ヲ攻略スルヲ要ス

(1) 敵ハ差當リ飛行機及潜水艦ヲ以テ反撃ヲ企圖スベク之ニ対シ我防線ノ立場ニ在ラバ其被害ハ相當甚大ナルヲ予期セホル可ラズ

(4) 今期作戦ニ於テ敵ハ機械力ノ整備スル限リ機力忍ナル活動ヲ為ス其一再破壊サルカ機力未整備ノ場所ハ極メテ脆弱ナリ

三各艦艇ニ對シ防空機群ヲ増備スルト共ニ極力味方航空機ノ協力ヲ策シ且テ誘爆防止上充分ノ處置ヲ要ス
第一次攻略戦ニ於ケル敵戦斗機ノ行動ハ其爆撃ヲ依リ我が艦艇ノ負雷及爆雷等ヲ誘爆ヲ企圖

シプリント認ム

第四要地防備ニ参考資料

ハ防備陣地兵器至近ニ簡單ナル居住施設ヲナスハ

適當ナリ

AAニ於テハ砲及大型機銃附近ニ糧食、飲料、水、寢

台ノ設備アリ

當隊ノ牽制陽動行動ニ對シ一部自動車ヲ以テ

移動往復セルモ、如シ

ニ大型機銃等ヲ以テ發光彈ヲ射出スルハ艦艇ノ

行動ヲ一時羈制シ得ルコトアリ

AAニ於テ赤色燈火ノ附近ニ我軍ノ臭雷艇ノ疑

モアリ一時奇異ノ感アリナリ

三、リング、メイン式電路ヲ敷設シ移動探照燈ニ利用ス

ルハ便ナリ

AAニ敷設シアル趣ナリ

別紙第一

軍艦天竜残存工事

訓令工事七件、通謀工七件、出征前必施工事（査定済）十件中
之煙ルモ、

一、船体

- (1) 入渠十六年五月十六日出渠、船底汚濁甚シク、速力著シク低下ス。
- (2) 舷外電路装置整備
- (3) 両舷錨鎖庫外板取換、腐蝕漏水部、應急修理ナリ。
- (4) 両舷錨鎖取換、錨鎖環柱甚シク弛ミ、使用不安

1112

砲煩兵器

- (1) 主砲口身換裝
- (2) 一番砲防波楯新設

三 水雷兵器

(1) 九〇式方位盤ニ型裝備
(2) 六年式魚雷(六個)搭載設備次發裝填ニ支障アリ

四 航海兵器

(1) 十二種双眼鏡ニ個新設
(2) 航跡儀新設

五 通信兵器

二年式高声電話器ヲ九二式ニ改装

終

別紙第二

第十八戦隊聯合陸戦隊戦闘詳報

一經過概要
指揮官海軍少尉上杉敬明以下准士官以上六名下士官兵一三六名

日	陸戦隊	守艦員
二	<p>一〇四五艦隊司令官のA A 砲地突ニ上陸 亦右陸戦隊指揮官海軍中佐田中光 夫ノ指揮下ニ入ル 三三〇〇ポパール島ピロコングポイントノ残敵 掃蕩捕虜ノ後送ヲ命ゼラレ陸戦隊 本部ノ位置ヲ出發 三二個ノ隊ヲ以テポパール島ウエノ島北 部ノ残敵掃蕩ヲ實施捕虜三百三十 余名ヲ本部ノ位置ニ後送セリ</p>	<p>一〇四五陸戦隊員ヲ乗艇 センノA A 本島23地突ニ揚 陸セルカ ニ右揚陸地突ニ附近 海面ノ警戒 三一四〇〇A A 本島繫船地 ニ到リウイルクノ島間ノ海上 交通連絡ヲ行ハリ</p>
三	<p>四一六〇ポパール島警戒備ヲ命ゼラレ一六三〇 ポパール島東端ニ到着亦右中隊本部ヲ 目アハシ島中央兵舎内ニ置キ直配備ヲ 以テポパール島警戒備ニ當リタリ</p>	<p>四一五三〇ヨリニ二〇〇迄ポパール ノ島戦傷者ヲA A 本島 ニ海上輸送ニ任ズ</p>

<p>二 十 日</p> <p>一〇四〇ヨリ昨日ニ引續キ戦利品ヲ整理 ヲ實施 二〇八三ヨリ傷者運搬作業撤退準備ニ 後事ス 三一五三〇陸戦隊員帰艦</p>	<p>二 十 日</p> <p>パール島警備 一午前哨兵以外ノ人員ヲ以テ函獲品 ノ整理調査 二午後使用シ得ル平射砲ニ門蓋耗損 銃四門ノ打試シテ行ヘリ</p>
<p>二〇八三以後戦傷者ヲ天竜 竜田へ輸送ス</p> <p>運搬ニ後事</p> <p>一〇四三〇陸戦隊員ノ糧食</p>	<p>一〇四〇ヨリ〇九〇迄AA本 島ヲウイルクス島間ノ交通運 路並ニ軍需品ノ運搬 二〇九一ヨリ一三〇迄陸戦隊 員ノ糧食ヲ海上輸送尚遺 骨材料運搬ニ後事ス</p>

三戰果

上陸時ニコパール島ヨリポイント方面尚殘敵多数アリタルモ之ヲシテ
悉ク降伏セシメテ後コパール島ノ警備ニ任シ完全ニコパール島ヲ確保セリ

三被害
輕傷兵三

四消耗兵器(船体)彈藥

天龍 一カッターニカッター
龍田 一内火艇ニカッター
小破
沈没

1116

三八式小銃彈藥包
九六式曳火手榴彈
三十挺發煙匣

五三五
二一五
個個奔

卷

別紙
回第二次作戦

"	"	"	"
本計長	應急員	電信員	射撃指揮員
主火尉	三等本計兵	二等水兵	三等兵曹
有坂純一	下道正治	高倉幸男	相根美夫
"	"	"	龍

下士官兵
七名

回第二次作戦死傷者調査表

死傷別	配 置	官 職	氏 名	別 記	計
軽傷	陸戦隊員	三 水	谷内松男	天	重官兵 一
微傷	陸戦隊守艇員	二 水	保谷久一郎	竜	重官兵 一
	陸戦隊員	三 機	佐藤宮四		重官兵 二

第二次作戦

別紙

電		電		電		電	
田	電	田	電	田	電	田	電
	一番ノズル止辨 接手ハッキン	三式五燭電球	三式四品電球	長波無線信守中線	同	九式機受信機改三	方向信那灯一機改一
	高速力三長 時間短走し且 在併用時同レ イン製ホニ依 リハッキン切損 蒸気噴出	砲筒激動	全	全	全	全	全
	軽度使用可能	一七切斷	同調目盛板歪曲	同	全	使用不能	全
	其ノ取扱法接 手ヲ取外シ 高熱ハッキン ニ被シ鋼ハッキン ニ極ホニ シテ又ハッキン 所定時間ハ高	予備品ト交換	同	被内修理	全	松葉丸ニ修理	全
		残額 三一〇 四七					
							修理及炸葉ノ 充填材料ヲ要ス 修理中ニ(松葉丸)

四兵器消耗調査表
 (1) 第一次作戦

爆雷		煩砲										兵器別
爆雷(九五式)		九六式輕機銃彈		三年式機銃彈		三耗機銃彈		八種高角砲彈 (榴霰彈)		十四種彈丸		種
天	電	天	電	天	電	天	電	天	電	天	電	類
消耗數量		殘額		消耗數量		殘額		消耗數量		殘額		記
0	1	0	15	600	100	普 300	曳 100	普 120	曳 60	榴 20	高 15	一七
1	17	0	9985	19340	19840	普 2475	曳 1085	普 2655	曳 1125	榴 55	高 75	四六三
1	18	0	0	0	0	普 2475	曳 1085	普 2655	曳 1125	榴 55	高 75	四七五
												三月十五日済北
												事

1126

四第二次作戦
別紙

燃料消費額調査表

燃料種類	AA政略戦中(自二六二三八日)		残額	艦別	記
	重油	煉炭			
	一一三七	八一、五	九三一	天竜	
	一〇〇九五	四五	九六一、五	天竜	
			六〇	天竜	
			三三	竜田	

六鹵獲品調査表
該當事項 +

六浦虜調査表
該當事項 +

終

火工兵器							兵器別
種	別	艦別	消耗数量	残	額	記	
十四輝彈丸	大	散	二四	四三九			
三式十院彈彩色			五三五	二〇四三五			
九式曳火手榴彈			一	八九			
三十一院發煙筐			二	一六			
十四輝彈丸		散田	一〇	四六五			
三十一院發煙筐			一	四			
一院發煙筒			四	六			
發光兵器			一	三		擬舟用トシテ使用	
信號銃前座信筒			三	六			
號	大		二	一〇			

四) 第二次作戰兵器消耗調査表

